

社員が自発的に英語力を向上するための仕組みづくり

～成果につながる動機づけ、学習法の見直し、ITの活用～

2015年10月26日(月)

時間: 14:00～17:00(受付開始13:30)

定員: 30名

費用: 無料

会場: CICOM BRAINSラーニング・センター

(秋葉原ダイビル7階)

※申込締切: 2015年10月22日(木)

※本セミナーは日本語で実施いたします



- ・英語力のある人材をプールしたいが、研修への参加率が思わしくない
- ・研修以外でも学習してほしいが、どのようにフォローしたらよいかわからない
- ・TOEICスコアでしか成果を測れていない、実務での実践度合いを見える化したい・・・そんな悩みを解決します

ともすると英語は勉強するものにとらえられがちですが、本来、コミュニケーションのツールのひとつですから、スポーツや楽器の演奏と同様に、継続的にトレーニングすることが向上のための唯一の方法です。しかし、日本で生活している以上、このトレーニングの場は意識的に作り出さなければならず、ましてや継続的に行おうとするとさらに高いハードルとなります。「難しい、大変だからできない」を「できる」に変えるには、英語のトレーニングを「行動習慣」にしてしまうことが秘訣です。習慣となれば、「やらないと気持ち悪い」と感じるようになるのです。本セミナーでは、英語のトレーニングをいかに行動習慣として定着させるか、そのための会社としての仕組みづくりをご紹介します。

■ セミナーの内容

○ 第一部

社員が自発的に英語を学べない、学習を継続できない理由

- ・目的、目標、モチベーションの維持と向上、成果の実感

社員が自発的に英語を学び、学習を継続するための仕組みづくり

- ・学習カウンセリング(目標、課題分析)、効果的な学習法、実践の場としての研修、ITの活用(習慣化)

○ 第二部

行動を習慣化するための技術

- ・PDCFAサイクルの運用
(目標をつくる、行動を続ける、行動を振り返る、人から吸収する、行動を変える)

IT(Action T.C.)の活用

- ・行動習慣化プログラム(研修とITの融合)、効果測定(成果の見える化)

○ 事例紹介

■ 対象者

- 人事、人材開発部門の方/グローバル人材育成ご担当者
- その他、部門所属で教育を担当されている方

■ 講師紹介



永谷 研一 Kenichi Nagaya

発明家
株式会社ネットマン 代表取締役
NPO法人 人材育成マネジメント研究会理事長
各小中学校 ICT活用教育推進アドバイザー

1966年静岡県沼津市生まれ。東芝テック、日本ユニシスをを経て、1999年4月株式会社ネットマンを設立。学校や企業にITを活用した教育サービスを提供する。「モバイル端末を活用したアクティブラーニング」のバイオニア。人材育成系のITシステムで日米で特許を取得。功績が高く評価され、米国O-1ビザ(卓越能力保持者)が認められる。行動科学や認知心理学をベースに、一万人以上の行動実践データを検証・分析し、目標達成のための行動習慣化メソッド「PDCFAサイクル」を開発。三菱東京UFJ銀行や楽天、日立グループなどの人材育成プログラムや私立、公立大学などのキャリア教育、留学プログラムに適用される。著書:「絶対に達成する技術」(KADOKAWA)、「人材育成担当者のための 絶対に定着させる技術」(ProFuture)



加藤 円 Madoka Kato

サイコム・ブレインズ株式会社
英語教育マネジメントグループ シニアプランナー

大学卒業後、児童英語講師、高校非常勤英語講師、留学コンサルティングを経て当社へ入社。シニアプランナーとして、英語基礎力強化、TOEIC対策研修、スピーキング力強化研修などの企画、教材開発、研修クオリティ管理、講師マネジメントに携わっている。

オーストラリア、イギリス、アメリカの滞在経験から、英語をコミュニケーションツールとして、様々な国の人とディスカッションすることのおもしろさと難しさを実感する。自分の経験を生かして、英語学習についての悩みを共有することで、グローバルな環境で活躍する受講者の応援をしたいと考えている。

■ お問い合わせ

CICOM BRAINS

Training & Development in Asia

サイコム・ブレインズ株式会社

担当: 加藤、Edsel(エドセル)

E-mail kenshu@cicombrains.com

東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル7F

TEL: 03(5294)5576<直通> FAX: 03(5294)5578

▶ お申し込み・詳細

<http://www.cicombrains.com/event/japan/20151026.html>